

学校評価集計（児童・保護者）

令和6年度 春江東小学校

A:当てはまる B:どちらかと言えば当てはまる
C:どちらかと言えば当てはまらない D:当てはまらない E:わからない(保護者のみ)

① 温もりと優しさ溢れる心の育成

A,Bの合計 ◎:90%以上 ○:80%以上 ▲:80%未満

あいさつ運動の推進と無言清掃の徹底			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、先生や友だち、家族や地域の人に自分から挨拶や会釈をしている。	R6年	48.2	43.8	7.3	0.7		◎ 92.0
		R5年	47.6	42.8	8.4	1.3		◎ 90.4
児童	私は、口を閉じてそうじに取り組んでいる。	R6年	63.5	29.6	6.0	0.9		◎ 93.1
		R5年	59.0	29.0	9.7	2.3		○ 88.0
保護者	お子さんは、家族や地域の人に挨拶や会釈をしている。	R6年	24.6	58.0	14.0	2.7	0.7	○ 82.6
		R5年	19.4	61.3	16.8	1.9	0.6	○ 80.7

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・どの項目も昨年度に比べて、上昇している。
- ・清掃に関して、環境委員会や清掃班長を中心に「無言清掃チェック週間」をつくり取り組んだ。
- ・今年度は、あいさつに関する取り組みがあまりできていなかった。来年度に向けて、東っ子委員を中心に「あいさつ運動」に取り組む予定である。

人権意識の向上と思いやりの心の育成			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、学校のきまりや約束を守っている。	R6年	49.2	45.5	5.0	0.3		◎ 94.7
		R5年	45.8	48.7	5.1	0.3		◎ 94.5
児童	私は、友だちに優しく接している。	R6年	66.8	29.8	3.3	0.3		◎ 96.4
		R5年	60.6	37.1	2.3	1.0		◎ 97.7
児童	私は、「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことができる。	R6年	71.4	25.5	2.5	0.6		◎ 96.9
		R5年	67.5	28.9	3.5	0.0		◎ 96.4
保護者	お子さんは、学校や社会のきまりを守って生活している。	R6年	38.6	56.0	2.0	0.7	2.7	◎ 94.6
		R5年	37.7	55.2	2.6	1.3	3.2	◎ 92.9
保護者	お子さんは、思いやりの心が育っている。	R6年	39.3	55.3	4.7	0.0	0.7	◎ 94.6
		R5年	40.6	51.6	3.2	1.3	0.6	◎ 92.2
保護者	お子さんは、「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことができる。	R6年	32.0	56.0	11.3	0.7	0.0	○ 88.0
		R5年	32.3	52.9	12.9	1.3	3.2	○ 85.2

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・普段から「ありがとう」「ごめんなさい」が言えるように、教員も意識して使っていく。また、道徳や学級活動、学校生活全体でも指導していく。
- ・今年度実施した「ありがとうの木」を、来年度以降も継続して行っていく。

安心・安全で居場所がある「魅力ある学校づくり」			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、友だちと仲よくしている。	R6年	78.7	18.7	2.3	0.3		◎ 97.4
		R5年	75.8	23.2	0.6	1.3		◎ 99.0
児童	私は、楽しく学校に通っている。	R6年	59.0	31.1	6.6	3.3		◎ 90.1
		R5年	57.2	32.8	7.4	2.6		◎ 90.0
児童	私は、みんなで何かをするのが楽しい。	R6年	72.1	24.7	1.9	0.3		◎ 96.8
		R5年	71.9	24.8	2.6	0.6		◎ 96.7
保護者	お子さんは、友だちと仲よくできる。	R6年	52.7	37.3	4.0	0.7	5.3	◎ 90.0
		R5年	55.5	36.8	3.2	1.9	2.6	◎ 92.3
保護者	お子さんは、楽しく学校へ通っている。	R6年	55.3	34.7	6.0	2.0	2.0	○ 90.0
		R5年	54.2	35.5	6.5	3.2	0.6	○ 89.7

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・不登校・いじめの未然防止や、楽しく学校に通えていない児童への早期発見に努めるために、東っ子アンケートを定期的実施し、教育相談を行っていく。
- ・なかよし班遊びや、はぴスポタイムなどの縦割り行事をはじめ、異学年交流を通して、児童の達成感や満足感を得ることができた。今後も、さらに児童の充実感を得られる活動を実施していきたい。

② 一人一人の確かな学力の向上

A,Bの合計 ◎:90%以上 ○:80%以上 ▲:80%未満

「わかる授業・できる授業・わくわくする授業」の実践			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、授業がよく分かる。	R6年	38.9	51.8	6.6	2.7		◎ 90.7
		R5年	45.0	46.9	7.1	1.0		◎ 91.9
	私は、自分の意見や考えを友だちに伝えることができる	R6年	39.5	43.2	14.6	2.7		○ 82.7
		R5年	39.2	44.4	14.1	2.3		○ 83.6
	私は、先生の話や友だちの発表をしっかりと聞いている。	R6年	60.5	36.5	2.7	0.3		◎ 97.0
R5年		61.3	33.2	5.2	0.3		◎ 94.5	
私は、学習で分からないことがあったら先生や友だちに質問している。	R6年	51.2	34.9	10.9	3.0		○ 86.1	
	R5年	51.9	35.7	9.7	2.6		○ 87.6	
私は、学習に進んで取り組んでいる。	R6年	45.2	37.2	15.9	1.7		○ 82.4	
	R5年	38.1	40.0	16.8	5.2		▲ 78.1	
保護者	お子さんは、授業（学習）の内容を理解している。	R6年	28.0	54.0	14.0	0.0	4.0	○ 82.0
		R5年	25.8	58.1	11.6	1.3	3.2	○ 83.9
保護者	お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。	R6年	18.0	47.3	26.0	8.0	0.7	▲ 65.3
		R5年	14.8	55.5	23.9	5.2	0.6	▲ 70.3

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・学習に関する学校での取り組みや、学習習慣アップ作戦の家庭での取り組みなどを、学年便り等で紹介し、啓発していく。
- ・家庭学習の内容を見直し、タブレットを活用した活動を取り入れることで、家庭学習に意欲的に取り組む児童を増やしていきたい。

基礎基本の確かな定着			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、漢字や計算などの学習に取り組んでいる。	R6年	56.8	34.2	7.0	2.0		◎ 91.0
		R5年	57.9	34.3	6.5	1.3		◎ 92.2
保護者	お子さんは、漢字や計算などの力が身に付いている。	R6年	24.7	58.0	14.0	2.6	0.7	○ 82.7
		R5年	28.4	54.2	14.2	1.9	1.3	○ 82.6

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・チャレンジテストは、学年の実態に応じた問題や取り組み方を変えて行っていく。
- ・デジタルドリルや、学びポケット等、デジタル学習を取り入れ、基礎基本の定着を図っていく。

読書活動の推進			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、くすのきタイムなどに本を読んでいる。	R6年	47.1	36.3	13.3	3.3		○ 83.4
		R5年	49.0	31.9	12.9	6.1		○ 80.9
児童	私は、本を読むのが好きである。	R6年	44.9	29.0	18.0	8.1		▲ 73.9
		R5年	45.2	34.3	13.1	7.4		▲ 79.5
保護者	家庭で、お子さんは、読書に親しんでいる。	R6年	12.0	30.0	34.0	23.3	0.7	▲ 42.0
		R5年	9.0	29.0	37.4	23.8	0.6	▲ 38.0

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・ライブラリーに親しみやすい本が増えたため、児童の読書量が増えたと考えられる。今後も、児童からのリクエストに対応したい。
- ・ライブラリーの環境を、読みたくなるような展示の仕方や、静かに読める工夫を考えていく。
- ・家庭での読書習慣についての数値が低いままである。そのため、週末にライブラリーの本を持ち帰るように呼びかけるとともに、電子書籍の活用も検討していく。

③ 基礎体力づくりと健康づくり

A,Bの合計 ◎:90%以上 ○:80%以上 ▲:80%未満

体力づくりの推進

		A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、なかよしタイムや昼休みの時間にすすんで体を動かしている。	R6年	59.1	23.6	14.0	3.3	○ 82.7
		R5年	60.1	29.3	8.7	1.9	○ 89.4
保護者	学校は、運動やスポーツに親しませ、体を動かす機会を増やすように努めている。	R6年	32.0	48.7	10.7	2.0	○ 80.7
		R5年	30.3	49.0	9.0	1.3	▲ 79.3

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・今年度は、異常気象の影響で、休み時間に進んで体を動かすことができなかった日も多かった。そのため、数値が減ってしまったと考えられる。来年度は、月に1回の「はびスポタイム」を継続し、校内だけでなく、家庭でも「はびスポ」での運動を行うようにする。
- ・前半の「なかよしマラソン」は全校一斉で行い、後半の「なかよしなわとび」は、縦割りで縦のつながりを意識してなわとびの練習を行っていく。
- ・委員会活動や縦割り遊び（鬼ごっこやなわとび、ダンスなどの活動）を通して、より体を動かす機会を増やしていきたい。

安全意識の育成

		A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、交通ルールや登下校のきまりを守り、安全に気を付けて登下校している。	R6年	78.7	19.2	1.4	0.7	◎ 97.9
		R5年	78.2	19.6	1.9	0.3	◎ 97.8
児童	私は、学校でけがをしないように安全に気を付けて行動している。	R6年	61.2	31.2	5.3	2.3	◎ 92.4
		R5年	58.1	36.7	4.5	0.6	◎ 94.8
保護者	お子さんは、交通ルールや登下校のきまりを守り、安全に気を付けて行動している。	R6年	46.0	48.7	1.3	0.0	◎ 94.7
		R5年	49.0	41.9	5.2	3.9	◎ 90.9

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・児童が安全に学校生活を送れるように、学校全体での安全指導の徹底を継続して行う。
- ・東っ子委員会や学期末の地区なかよし会では、普段の生活の安全についての反省を促すなどして、児童や教員から呼びかける機会を設けていきたい。

望ましい健康意識の育成

		A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、規則正しい生活（早寝、早起き）をしている。	R6年	45.2	42.0	9.8	3.0	○ 87.2
		R5年	48.1	39.0	11.3	1.3	○ 87.1
	私は、朝ごはんを食べて学校に来ている。	R6年	87.7	8.6	2.0	1.7	◎ 96.3
		R5年	87.8	6.4	3.9	1.9	◎ 94.2
	私は、苦手なものでも残さず給食を食べている。	R6年	67.5	21.6	11.8	4.3	○ 89.1
		R5年	67.3	18.1	11.0	3.6	○ 85.4
私は、健康のために、うがい・手洗い・消毒・マスク着用などをしている。	R6年	71.8	24.7	2.8	0.6	◎ 96.5	
	R5年	71.8	24.7	2.8	0.6	◎ 96.5	
私は、メディア（ゲーム、テレビ、スマホなど）の時間を守っている。	R6年	49.2	34.7	11.8	4.3	○ 83.9	
	R5年	47.2	36.9	12.9	2.9	○ 84.1	
保護者	お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯の習慣が身に付いている。	R6年	40.7	48.7	1.3	0.0	○ 94.7
		R5年	46.5	38.7	12.3	2.6	○ 85.2
	家庭では、テレビを観たり、ゲームをしたりする時間を守っている。	R6年	33.3	45.3	14.7	6.7	▲ 65.3
		R5年	17.4	46.5	25.8	10.3	▲ 63.9
	家庭では、テレビを見たりゲームをしたりする時間にきまりがある。	R6年	24.0	41.3	26.0	8.7	▲ 78.6
		R5年	29.0	45.8	18.7	6.5	▲ 74.8

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・東っ子生活習慣チェックを継続し、規則正しい生活ができるように指導していく。
- ・学校公開日やPTAの活動で「メディアの使い方」「睡眠への影響」について学習し、親子で体や心の影響について学ぶ時間を設けることで、保護者の関心もより一層高まると考えられる。また、実施後はPTA広報誌やHPで紹介し、継続的に呼びかけていく。
- ・年度初めに、我が家のスマートルールを家庭でしっかり話し合っ決めて決めるように呼びかけていく。
- ・保護者の設問に「時間を守っている」「時間にきまりがある」と似たような文言がある。来年度は、1つに統一するとよい。

④ 信頼される学校づくり

A,Bの合計 ◎:90%以上 ○:80%以上 ▲:80%未満

積極的な家庭・地域との連携、地域を愛する心の育成			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、ゲストティーチャーやボランティアの方との学習は楽しい。	R6年	49.5	38.2	9.0	3.3		○ 87.7
		R5年	48.0	37.3	11.4	3.3		○ 85.3
	私は、見守り隊や地域の人に感謝の気持ちをもっている。	R6年	66.6	24.7	7.4	1.3		◎ 91.3
		R5年	66.6	23.7	8.4	1.3		◎ 90.3
	私は、今、住んでいる地域が好きである。	R6年	78.1	17.2	2.7	2.0		◎ 95.3
		R5年	79.1	16.1	2.6	2.3		◎ 95.2
保護者	学校は、様々な情報発信（学校だより・学年だより・学級からのお知らせ・ホームページ・メール配信）を行い、家庭との連絡や連携を行っている。	R6年	42.7	49.3	5.3	0.7	2.0	◎ 92.0
		R5年	47.1	45.8	3.9	0.6	2.6	◎ 92.9
	子どものことで、悩みや問題があった時に学校に相談できる。	R6年	31.4	56.0	8.0	1.3	3.3	○ 87.4
		R5年	34.4	46.1	13.0	1.9	4.5	○ 80.5

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・低学年においても生活科などで、地域の方やゲストティーチャーを招いて行う活動を取り組んでいきたい。
- ・ボランティアの方や見守り隊の人々に感謝の気持ちを伝える機会を設定する。集会などで関係方々を招いて人物紹介、活動紹介などをしたり、感謝のありがとう手紙などを書いたりする活動を取り入れる。
- ・地域での交流活動に、学校からも積極的に参加を促した結果、地域が好きという児童が増えたのだろう。
- ・Home & schoolアプリなどソフト面の利用に慣れていないこともあるが、学校側からのソフト面の利用の必要性を積極的に発信して、学校と地域との連携を密に行っていきたい。